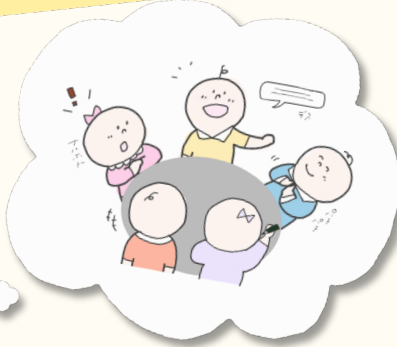




オンラインで開催された リーダーシップ・キャラバン2020



*本キャラバンに参加した共立学生



全国で21世紀型のリーダーシップを学ぶ大学生同士が繋がり、共に学習する場として、リーダーシップキャラバン2020がオンラインで開催されました。スケジュールの図(真ん中左)にあるように、自分のリーダーシップのあり方を見つめ、成長に繋がる3日間となりました。初日はとても緊張した様子でしたが、後半は他愛もない会話に笑い合い、時には真剣に議論をする関係性が出来上がり、それぞれが自分らしさを出さることができていたように感じました。ハードなスケジュールの中でも「楽しかった」という感想を聞いたということは、一人ひとりが一生懸命取り組み、何か一つでも学びを得られた結果なのだと思います。

参加した学生に聞きました！

3日間のスケジュール

1日目

4～5人のチームに分かれ、企業から提案されたテーマでプロジェクトワークを開始！

2日目前半

みんなの前でプレゼンテーションをし、企業ごとに審査が行われる。

2日目後半

チームの中での自分の行動、チームメンバーの行動を振り返る。

3日目

同じ大学で集まり、2日目の個人の気づきや学び、成長を共有。

今回参加した共立の学生と他大学の学生、それぞれ2名にインタビューしました。他大学の学生がいることで、たくさんの成長をしている姿が見られました。意気込みから、参加した後での心境の変化に注目してご覧ください。

Q1. 共立の学生と接してどうでしたか？

ミーティングでの発言の仕方やテキストでのやり取りにいたるまで、4月から社会人になる自分を顧みたくなるほど洗練されていて刺激的でした。

Q2. 共立生徒の印象に残っているエピソードはなんですか？

どちらの振り返りワークを行うべきか運営でも意見が対立した際に、自分自身がどのような思いを持っているのかを明確に伝えていた姿は印象的でした。

早稲田大学 4年 M.Oさん
参加者全員脳汁全開

Q1. 初めての他大学交流で感じたことは？

リーダーシップという共通言語を学んでいてもどうしても微妙な齟齬が生まれてしまうので、そこをどう修正していくかが今後の課題でもあり腕の見せどころだと感じました！

Q2. 今後、どんな他大学交流をしたいですか？

自分の苦手分野を最初に開示して、プロジェクトワークでそれを克服する！みたいなのがあったら面白いな～と思います！

共立女子大学 1年 K.Kさん
1年間で学んだことを出し切る！

Q1. リーダーシップを学ぶ魅力はなんですか？

リーダーシップを学んで上手く発揮できるようになると、複数人で動く際に1+1が単に2ではなく、4にも5にもなるということです！

Q2. リーダーシップ科目を受講して見つけた自分の強みはなんですか？

良い意味で、空気を読む力があるかも！？と思っています！(笑)建設的かつ積極的に相手とぶつかっていかうと意識しています！

名古屋大学 2年 K.Sさん
これまでの経験を出し切る！！！！

Q1. 今回、参加しての感想

他大学の皆さんと交流することで、違った価値観を知ったり、改めて自分ってどういう人なんだろう...と見直すことが出来ました。とても有意義な時間になりました。

Q2. 真似したいメンバーの行動はなんですか？

「ここをこうしたいんだけど、どうかな？」と、自分1人で進めてしまうのではなく、相手に質問の形で投げかけることです。メンバーが実践していて、そこで1度共有しておくことの重要性を知りました。

共立女子大学 1年 K.Yさん
新たな自分の発見！！

*2021年3月時点

企業の方が感じた事とは？

参加企業には、14チームに対して全14名にサポーターとして参加していただき、チームで考え抜いた提案とプレゼンテーションを審査していただきました。今回は名古屋に本社をかまえるアビームシステムズ(株)にインタビューをご協力いただきました。

Q1 参加してみたの感想を聞かせてください。

「学び」に意欲的な学生がたくさん参加しており、サポーターとしての介入を通じて日々の業務の中で忘れかけていた学ぶことの面白さ、学びへの熱意を思い出ことができました。

Q2 共立の学生の印象はどうでしたか？

「落ち着いて周りを見ることが出来る」「地に足の着いた意見を話せる」「他人の主張へ素直に共感できる」「元気いっぱい」といった印象です。なお、当社では共立女子大学1年生の方を2名担当しました。

Q3 今後リーダーシップを学ぶ学生に期待することは何ですか？

リーダーシップ発揮の機会は日常生活にあふれていますので、実践あるのみです。これからも「学び」への意欲を忘れず、日々実践することで新たな気付きや素敵な仲間を得ることができると思います。今後、皆さん一人ひとりが、日本や世界の発展に寄与する人材に成長していくことを心より期待しています。



インタビューに笑顔でご協力くださった皆様